

令和6年度分

目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

次年度以降の方針 (主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】
		当年度に不動尊公園歩道橋橋梁補修および百々石公園再整備事業を実施したことにより、事業費が拡大した。次年度以降は、環境保全のため適切な維持管理を行い、利用状況等を確認しながら、事業の見直しを適宜行う。
委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】
		担当課意見のとおり。

施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	5・1・2									
施策名	資源循環利用の推進		評価担当課	町民税務課				総合戦略	行政経営	過疎
								-	-	-
目 標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合				施策の内容	資源循環を基本的な取組みとし、3R【Reduceリデュース(廃棄物の発生抑制)、Reuseリユース(再使用)、Recycleリサイクル(再資源化)】に町民等が主体的に取組めるような支援を行います。また、家庭や事業所から排出される廃棄物の適正処理を確保するとともに、廃棄物の不適正排出や不法投棄の対策を強化し、長期的に安心・安全で環境に与える負荷を低減させるごみ処理体制の確保を図ります。				
現状と課題	本町は273.30km ² と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけではなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。 ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまでも様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしながら、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。									

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
町民参加型環境講座参加者数	人	20	30	30	30	30	-	4.50	50	2.70
			29	69	107	135		-		
リサイクル率	%	23.7	25.0	25.0	25.0	25.0	-	0.88	25.0	0.88
			23.3	22.7	22.0	22.0		-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
								-		
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
								-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	38,528	54,721	36,729	61,331	61,595	62,017

取組の総括

1年間の 主な取組 と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)		【 】おおむね順調 【 】いっそうの推進が必要 【 】抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数		2	事業	
成果	A	1事業	(50.0%)	平均点
	B	1事業	(50.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.5
コスト	A	1事業	(50.0%)	平均点
	B	1事業	(50.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.5
進捗率	A	1事業	(50.0%)	平均点
	B	1事業	(50.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.5
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.5

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
		・事業の情報発信により、引き続き環境美化・ごみ減量化など環境に配慮した取り組みを推進する。 ・町のごみ収集を業者委託により適正に処理し、環境保全を図る。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】
		担当課意見のとおり。

施 策 評 価 表

令和6年度分

施策コード	5・1・3								
施策名	環境保全・美化活動の推進		評価担当課		町民税務課		総合戦略	行政経営	過疎
							-	-	-
目 標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合					施 策 の 内 容	地域の特性や環境資源を生かしながら、町民が主体的に環境保全や美化活動に取組むことができる支援を行います。また、「環境基本計画」に掲げる町を目指すとともに、環境教育・環境学習の充実を図り、環境の保全と創造に主体的に取組む人材を育てます。		
現状と課題	<p>本町は273.30km2と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけではなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。</p> <p>潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。</p> <p>ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまでも様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしながら、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。</p>								

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
一斉清掃活動参加者数	人	2,489	2,700	2,700	2,700	2,700	-	0.75	2,900	0.70
			2,297	1,520	1,506	2,024		-		
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
								-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						計画目標値(令和6年度)	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
								-		
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
								-		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	3,498	4,586	4,101	5,057	6,286	5,589

取組の総括

1年間の 主な取組 と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)		【 】おおむね順調 【 】いっそうの推進が必要 【 】抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数		6	事業	平均点
成果	A	4事業	(66.7%)	
	B	2事業	(33.3%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.7
コスト	A	5事業	(83.3%)	平均点
	B	1事業	(16.7%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	1.8
進捗率	A	5事業	(83.3%)	平均点
	B	1事業	(16.7%)	
	C	事業	(0.0%)	
未実施		事業	(0.0%)	平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.8

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 令和6年度に地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定した。 今後、国・県の上位構想の策定状況を踏まえ、令和8年度以降に地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定を検討する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課意見のとおり。

事業なし

令和6年度分

施策コード	5・2・1						
施策名	先導的な省エネルギー化の推進		評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎
					-	-	○
目 標	自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合			施策の内容	低炭素社会の実現と限りある資源の有効利用のため、行政が率先して環境に配慮した取組みを進めるとともに、町民一人ひとりの省エネルギーへの意識の向上と行動の重要性について広く町民に呼びかけ、周知を図っていきます。		
現状と課題	<p>地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境へ配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。</p> <p>化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが注目されています。自然環境に恵まれている本町にあっては、地球温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めていくことが必要です。</p> <p>近年急激に進む人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃した山林や耕作放棄地などが増加していますが、こうした土地を適正に管理するため、「国土利用計画」を見直し豊かな自然環境の保全に努めていく必要があります。</p>						

目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
公共施設等のエネルギー使用量の削減率	%	-	2.5	2.5	2.5	3.0	-	28.90	5.0	17.34
			21.1	17.9	69.0	86.7		-		
公共施設の省エネルギー化率	%	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	1.09	30.0	0.72
			14.6	14.4	14.0	21.7		-		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(令和6年度)		
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	上段:達成率(R6実績/R6目標)	令和6年度	達成率(R6実績/R6目標)
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
								-		#DIV/0!
							-	#DIV/0!		#DIV/0!
								-		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の 事業費の合計	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度(計画)
	0	0	172,256	673,644	0	0

取組の総括

1年間の 主な取組 と成果	「略」		
施策の進行管理 (構成事務事業の評価結 果をもとにした施策の進 捗状況の判定)		【 】おおむね順調 【 】いっそうの推進が必要 【 】抜本的に見直しや改善が必要	
今後の取組	「略」		

構成事務事業の評価結果

事務事業数	0	事業	
成果 A	事業		平均点
B	事業		
C	事業		
未実施			
コスト A	事業		平均点
B	事業		
C	事業		
未実施			
進捗率 A	事業		平均点
B	事業		
C	事業		
未実施			平均点
平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			

次年度以降の方針 (主担当課)	-	【説明欄】
		令和5年度で完了している
委員会評価	-	【委員会意見欄】

令和6年度分

目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	〔説明欄〕
		本町は、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、令和6年3月にゼロカーボンシティ宣言を表明した。今後も既存事業の見直しや新たな施策の展開を図り、脱炭素化に向けた取り組みを推進していく。
委員会評価	現状維持	〔委員会意見欄〕
		担当課意見のとおり。

令和6年度分

目標指標

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

取組の総括

構成事務事業の評価結果

平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

<p>次年度以降の方針 (主担当課)</p>	<p>現状維持</p> <p>【説明欄】</p> <p>本町の計画的な土地利用を推進するため、「丸森町国土利用計画(第4次)」に基づき適正に対応します。また、太陽光や風力発電等再生可能エネルギー施設の設置に関しては、防災上及び自然・生活環境に及ぼす影響等を注視し、引き続き、開発計画の状況等把握に努め、乱開発に繋がらないよう、県等と連携した対応を行います。また、乱開発を防止し、緑豊かな環境を保全するため関係法令に基づいた適正な規制・指導を行います。</p>	
<p>委員会評価</p>	<p>現状維持</p> <p>【委員会意見欄】</p> <p>担当課意見のとおり。</p>	